

令和8年度における「重点的に取り組む経営課題」について

経営課題1 高齢者の安全対策を主眼とした消防行政の推進

課題認識	市民が日々の暮らしを営む住宅で起こる火災や事故等の発生件数を低減し、その被害を最小限に抑えるため、特に高齢者が被害に遭う傾向が強い現状を踏まえ、その安全対策を主眼とした施策を進める必要がある。
主な戦略 (課題解決の方策)	・高齢者に対する住まいの防火・防災診断や介護事業者等に対する研修など、住宅火災に関する効果的な予防啓発の推進 ・重大な消防法令違反がある共同住宅に対する違反是正の徹底 ・消火活動能力の向上 ・住宅内事故に関する効果的な予防啓発 ・住宅内事故に対応する消火隊、救助隊及び救急隊の連携強化

経営課題2 市民等が利用する施設の安全・安心の確保

課題認識	映画館やスーパーマーケット、宿泊施設等の様々な集客施設が立ち並び、市民はもとより国内外から多くの観光客等が訪れるという本市の地域特性はもちろん、特殊なビル火災をはじめ、変わり続ける情勢を的確に捉えた火災予防施策を推進することにより、市民等が利用する施設の火災に対する安全性を高める必要がある。
主な戦略 (課題解決の方策)	・計画的な立入検査の実施と特定防火対象物に対する徹底した違反是正の推進 ・特定防火対象物のうち防火管理者の選任が義務付けられているものに対する消防訓練指導の徹底 ・特定一階段等防火対象物に対する火災予防推進

経営課題3 良質な救急行政サービスの確保

課題認識	高齢化の進展等により救急件数の増加が予測される中、救急需要対策など充実した施策の推進と良質な救急活動の実施により、救命率の維持向上を図る必要がある。
主な戦略 (課題解決の方策)	・救急需要増大時における体制確保 ・救急安心センター事業の推進 ・応急手当の普及啓発 ・救急活動の質の向上

経営課題4 大規模災害への対応力の強化

課題認識	今後発生が危惧される南海トラフ巨大地震や風水害等の大規模災害に対し、市民一人ひとりがこれに備え、発生時に的確に対応することができるよう、また、消防局が最大限にその役割を果たすことができるよう、自助・共助・公助における災害対応力を強化する必要がある。
主な戦略 (課題解決の方策)	・市民に対する効果的な防火・防災に関する事業の推進 ・高度で専門的な技術を有する地域防災リーダーの養成 ・大規模災害に備えた消防職員の研修及び訓練

最後に

運営方針は、3月の大阪市会で説明するとともに、消防局ホームページにも公表しています。職員の皆さんは日々の業務を進めるにあたり、運営方針の内容を十分に理解し、常に意識した上で取り組んでください。また、その内容について市民から質問された際にはしっかりと説明できるようにしておいてください。



大阪市消防局HP

令和8年度大阪市消防局運営方針

大阪市消防局では、「施策の選択と集中」の全体像を示す方針として、毎年度運営方針を策定しています。令和8年度は、「重点的に取り組む経営課題」として、特に高齢者の安全対策を主眼とした消防行政を推進するほか、市民等が利用する施設の安全・安心と良質な救急行政サービスを確保するとともに、大規模災害への対応力の強化に取り組んでまいります。

運営方針とは

企業活動などで使われる「戦略計画※¹（経営戦略）」の考え方を行政に導入したもので、全市的な方針を踏まえて各区・局の目標、使命を示すとともに、特に優先して取り組む経営課題と課題解決のための事業戦略を所属の「施策の選択と集中」の方針として示しています。

※1 戦略計画

「部門ごとに、自らのミッション(使命・役割)を認識した上で、現状分析や将来予測などを踏まえ、めざすべき状態の実現に向けて解決すべき課題が何かを明らかにし、課題を解決するための効果的な方策を練り、その方策に即した具体的な行動を明らかにする。」という計画で、「事業の実施によってめざす成果(状態の変化)の目標を測定可能な指標を用いて設定し、定期的に測定することで、達成状況をチェックし、フィードバックすること」を前提としています。

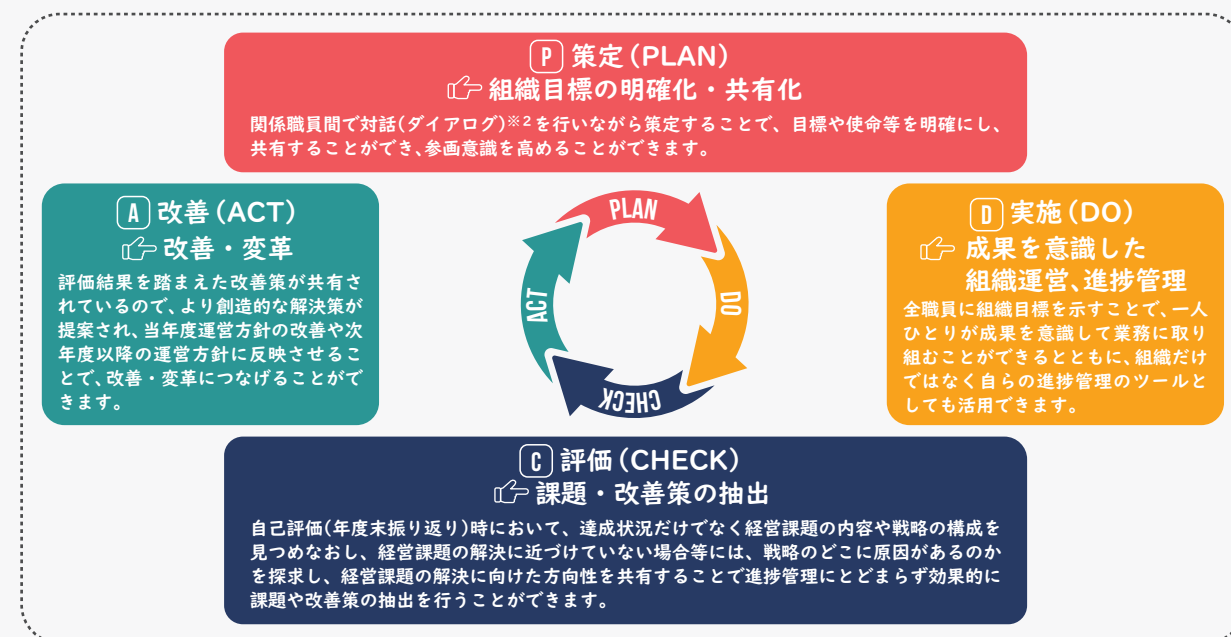
運営方針の狙いと意義について

① PDCAサイクルの徹底

▶ 職員が成果を常に意識して日々の業務に取り組むとともに、その取組の有効性をチェックし、改善や新たな展開につなげる「PDCAサイクル」の徹底を狙っています。

②市民に対する説明責任

▶ 運営方針を作成、公表することで、市民に対して当市の各所属が何に取り組んでいるのかを明らかにし、説明責任を果たしていくことができます。



※2 ダイアログ

対話(ダイアログ)とは、平等の立場で共にテーマを探求することにより新しい知識の創造や発見などを生み出すための会話であり、立場を超えてお互いの背景や想いをオープンに話し、オープンに聴くことが重要です。

各経営課題に対し、関わる全ての職員が、共に考え、皆で答えを出し、取り組んでいくことが重要であるという認識のもと、対話(ダイアログ)をベースとしたマネジメントが求められています。

演 題 学び続ける大切さ



高度専門教育訓練センター
研修・人材育成 消防司令補 石川 裕朗

演 題 心の増し締め



阿倍野消防署 救助隊 消防士 佐藤 勇希

演 題 未来の仲間を育てる採用戦略
—防災知識がつなぐ強い地域—



此花消防署 消火隊 消防士 森岡 拓馬

演 題 MBTI
—マイヤーズ・ブリッグス・タイプ指標—



旭消防署 予防担当 消防士長 森 奨太

審査員講評(抜粋)



NHK大阪放送局 元アナウンサー 中村 宏氏

毎年、楽しみにしているこの意見発表会ですが、今年も私自身、多くのことを学ぶ機会になりました。

先日、私が居住するマンションの防火訓練に参加して、初めて消火栓がある場所を知ったのですが、防災知識を広めることが消防士を志す若い世代を育てることにつながるという提言は、なるほどと思いました。消防の活動といえば、まずは消火、救急といった緊急の対応を思い浮かべますが、市民が防災知識を学ぶ機会を作っていくことも、予防の観点から欠かせないと思います。

「増し締め」という言葉は初めて聞きましたが、最後にもう一度確認するという意味では、どんな仕事にも共通する大切なことですね。他にも新しい発見があり、さすがしく、晴れ晴れとした気持ちにさせられる発表ばかりでした。

*各発表について、二次元コードから発表会当日の音声を聴くことができます。

最優秀賞、優秀賞を受賞した3名の発表（概要）については、次号以降に掲載予定です。

第73回 消防職員意見発表会



令和8年2月17日、西消防署講堂において第73回消防職員意見発表会を開催し、各ブロックから選抜された8名の職員が、職務に対する提言や今後取り組むべき課題など自身の思いを発表しました。外部からお招きした中村宏氏（NHK大阪放送局 元アナウンサー）や宮本昭一氏（大阪市職員人材開発センター）ら審査員により、発表内容や表現力について厳正な審査が行われ、最優秀者などの表彰者を決定しました。

本発表会は、昭和26年に職員弁論大会としてスタート、昭和62年の第35回目に消防職員意見発表会へと名前を変えながら、脈々と続く歴史があります。今年も、発表者それぞれの職務に対する熱い思いや、消防のこれからについての考察など、様々なトピック満載の発表会となりました。ここでは各発表者の演題及び講評内容の一部を紹介します。

発表者の皆さん

最優秀賞 見えない装備



平野消防署
消火隊 消防士
森山 隆己

優秀賞 その一言が命を守る



城東消防署 情報担当 消防司令補 谷 恭輔

優秀賞 “一瞬”に賭ける防火の使命



中央消防署 予防担当 消防士長 葉山 晃汰

リクルーター活動を体験したリクルーターの声

座談会

自身の経験を交えて、受験者に寄り添って話すことができ、大阪市消防局の魅力を伝えられた

採用セミナー

学生との年齢の近さを生かし、直接話すことで、リクルーターとしての想いも伝えることができた

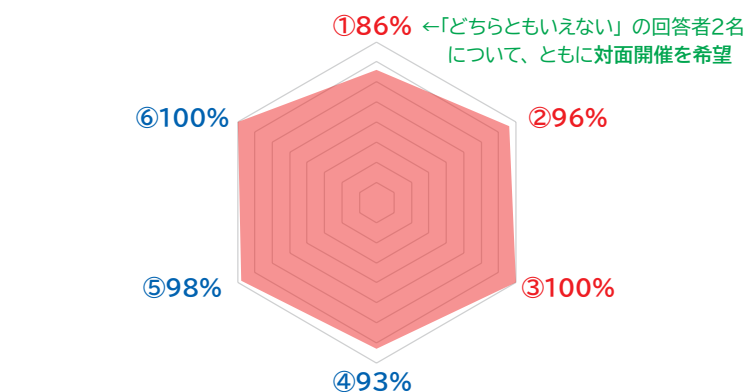
キックオフマッチング(新任配置者向けグループメンター)

和やかな雰囲気の中で意見交換ができ、多くの職員とつながれることが楽しみ

今後、コミュニケーションが取りやすくなると思うし、想像していたより楽しく、負担も大きくない

対面で実施すれば、より効果が高まると思うので、次回以降、検討してほしい

満足度 (非常に有意義であった・有意義であった)



※ オンライン開催

(R7.10～R8.1)

	アンケート回答者	備考
①	リクルーター(キックオフマッチング※)	不参加6名は映像で回答
②	リクルーター(採用セミナー等)	採用セミナー15回
③	リクルーター(相談会)	二次試験実施後に開催(対面)
④	新任配置者(キックオフマッチング※)	人事専門委員署の15名
⑤	採用セミナー等参加者(学生等)	採用セミナー15回・366名参加
⑥	相談会参加者(秋・二次試験受験者)	二次試験受験者88名→69名参加

最後に

令和7年度の採用セミナーを通して強く感じたことは、「消防」という仕事に対して、いまなお高いハードルを抱く方がいるということです。例えば、「アスリートのような体力が必要」、「昔から消防を志してきた人が就く職業」という消防へのイメージが挙げられます。確かに、災害現場に対応するための体力は必要です。しかし、その体力や技術は、採用後の訓練や日々の積み重ねを通じて磨いていくことができます。また、消防を目指すきっかけは人それぞれであり、重要なことは消防士になってからの行動と前向きな姿勢ではないでしょうか。

このような背景を踏まえると、消防局においても、新たな時代にふさわしい人材マネジメントへの転換が求められています。令和8年度に本運用を予定しているリクルーター制度を通して、リクルーターが学生等に消防局の魅力を直接伝える機会を広げるとともに、消防の根幹である「使命」に加えて、多様な働き方を踏まえたキャリアイメージや、様々な分野で活躍する職員のリアルな声など、幅広く正確な情報を発信し、イメージと現実のギャップを少しでも解消することで、人材確保から採用後の職員定着までを見据えた採用対策活動を展開していく必要があると考えています。

これから消防を目指す方々が、採用から3年後、5年後の姿だけでなく、さらにその先の将来像まで見据えたうえで、消防そして大阪市消防局を選択していただくよう、今後もリクルーター制度をはじめとする様々な取組を組織横断的に推進し、引き続き「人の魅力あふれる大阪市消防局」に向けて尽力して参ります。

新たな時代にふさわしい人材マネジメント

リクルーター制度始めます

企画部人事課

昨今の少子高齢化や働き方の多様化など、社会構造の変化により労働力の供給が減少しており、大阪市消防局の受験者数は減少傾向で、加えて普通退職者についても増加している状況です。

このような状況を踏まえ、当局では、令和7年9月に「大阪市消防局人材確保基本方針」を策定し、「採用辞退防止対策」「人材確保対策」「離職防止対策」という3つの対策を主軸とした取組を進めています。

本稿では、当該方針に定める取組の一つである「消防局リクルーター制度」(以下、リクルーター制度)の試行運用について紹介します。

リクルーター制度って何？

採用対策活動に意欲のある職員の中から、所属長の推薦を受けた14名をリクルーターとして選任し、人事課担当者と連携して消防局の魅力を学生等へ発信することを主な活動としています。また、採用広報活動の強化に加え、リクルーター自身のエンゲージメント向上を図ることも目的の一つとし、各人材確保対策、特に3本柱においてリクルーターにご活躍いただいています。



大阪市消防局 HP
(消防職員採用)

リクルーターの活動

採用辞退防止対策

相談会

採用試験二次試験実施後に開催
受験者の9割が参加

[対面]

座談会

採用内定者向け

[オンライン]

セミナー等参加者の声

他本部と迷っていたけど、大阪市消防局に決めたい

質問に丁寧に答えてもらい、より大阪市消防局で働きたくなった

令和8年4月1日採用予定者のうち、前年同時期と比べて辞退者が約10%減少

人材確保対策

採用セミナー

府内の大学等に加え、他県でも開催

[オンライン・対面]

セミナー等参加者の声

様々な職員の話を直接聞いたことで、理解が深まり、有意義だった

大学からの次年度セミナーへの参加要望多数

離職防止対策

キックオフマッチング

(新任配置者向けグループメンター)
※試行運用では、人事専門委員署の新任配置者

[オンライン]

参加した新任配置者の声

話しやすかった。他所属の先輩職員とつながることができて心強い

次回以降につながる意見多数



二次試験実施後の相談会



IPU・環太平洋大学での採用セミナー



キックオフマッチング
(新任配置者向けグループメンター)

ココ改善！

— 消防署の活動から地域の活動へと 廃棄ホースがつなぐまちづくり —

消防職員のアイデアが地域の自主的な活動につながった事例として、廃棄ホースを活用した植木鉢作りを紹介します。区民にこの植木鉢を提供し、作り方を紹介した結果、各町会の女性防火クラブ員が中心となり、地域コミュニティで自主製作され、地域の活性化に貢献した事例です。



ホースくんポット作成前

ココ改善！



ホースくんポット作成後

きっかけは？

毎年、大量に廃棄されるホースの存在が SDGs の観点からも気になっていたことから、廃棄ホースの有効活用を考える中で、住之江区の地域活動である「花と緑のまちづくり」と関連付ける形で新たな火災予防啓発に活かすことができないかと考えた。

取組内容は？

職員へ予防啓発品などへの活用アイデアを募り、職場活性化推進チームが選定、試作等を担当。署所ごとに作業を分担し、ホースくんポット（植木鉢）を作成。
〈 活用方法 〉
・地域団体（女性防火クラブ）への提供
・生花を植え玄関等に設置 ・予防啓発として制作した防火標語と一緒に掲示
・消防署開放デーの啓発物品として製作体験及び配布



ホースくんポット作成動画

取組後の効果は？

・地域団体を中心に区内各コミュニティで自主製作してもらえるようになった。（廃棄ホースは消防署が提供）
・生花を飾るリラックス効果等、来庁者、職員が一息つける空間ができた。
・防火標語（生花付き）掲出により、無機質な消防署のフェンスが通行者や近隣住民への火災予防啓発に貢献。

改善後の声は？

廃棄されるホースが、ホースくんポットとして、「花と緑のまちづくり」に関連した活動に活かされることとなり、地域活動の活性化、地域におけるコミュニケーションの促進、火災予防啓発に寄与していると好評を得ている。

企画課 事務改善担当からのコメント

廃棄ホースを活用した取組は過去にもありましたが、今回は地域団体を中心に市民の皆さまが自主的に製作に取り組む点が良いですね！SDGsの観点に加え、消防をより身近に感じていただくきっかけになるなど、多くのメリットがあります。今後も製作品をきっかけに区内全体で“つながり”が育っていきますように😊

No more！事故 ～撲滅への道～

119番通報を受けた際、安全かつ迅速に出場することで、いち早く災害現場へ駆けつける消防車両。

消防車両は、安全に現場へ到着してこそ、最大限の活動が実施できます。

このコーナーでは、各署で実施している交通事故防止への様々な取組や対策を紹介していきます。

今月は、水上消防署の取組について紹介します。



水上消防署職場推進チームのメンバー

管内の通行ポイント

水上消防署は陸上と水上の両方を管轄する範囲に含んでいます。

陸上の管轄範囲は築港、海岸通のみ、と狭いですが、海遊館などの観光施設が集まり、歴史的建造物と近代的な景観が共存しています。

水上は、水の都と呼ばれる大阪市を取り巻く河川、海のほとんどが水上消防署の管轄です。

そこで今回は、水上の管轄範囲から河川の通行ポイントについてご紹介します。大阪市内には、淀川、神崎川、道頓堀川、木津川、堂島川等大小様々な河川があり、場所によっては消防艇の通行が困難なほど水深の浅い場所もあります。そこで水上消防署では、事故防止のために、全ての大阪市内の河川情報をまとめた独自の地図を作りました。

各河川の水深や犬走り、川幅、釣り人の有無、水底の障害物等の様々な情報を水上消防署職員が調査し作成した地図は、災害出場や航行訓練に赴くときの乗組員全員での確認や、安全航行のためのより安全なルート選択に役立っています。

また、各河川や海での船舶の航行には、陸上と同じようにルールがあります。そこで水上消防署では新配置者研修として定期的に船舶の教養を行い、新配置者が様々な向きから船舶が往来する水上で必要とされるルールを把握できるよう、努めています。



水上消防署職員が作成した地図



署内警防技術練成会の様子

水上消防署の取組

交通事故防止への取組

水上消防署では職場推進チームが中心となり、事故防止のための活動に取り組んでいます。

今年度は水上消防署独自の取組として、署内警防技術練成会においてコーン等を使用した狭路通過の通過、テープ等で赤信号交差点を設定し、その通過要領を確認する等の取組を行いました。その結果、出場隊員を含む水上消防署職員が安全運転について考える良い機会となり、現在までの車両運行時の交通事故防止に役立っています。

また、日本自動車連盟(JAF)職員を招聘しての交通事故防止推進研修も行いました。

研修での危険予知トレーニングや事故画像による運転時の注意点解説、駐車場の事故防止等のための自動車取り扱いのプロからの教養は、水上消防署職員の事故防止意識の醸成につながりました。

このような取組により、機関員を含む水上消防署職員は事故を起こさないように努めると共に、大阪の海の玄関口として発展してきたエリアである水上消防署管内の安全と安心を守っています。

この車、動かす時、気を付けて

水上消防署管内の常備配置車両はCC、ST(2台)、R、RE、A、FB(まいしま、ゆうなぎ)です。水上消防署は、大阪市消防局唯一の消防艇を保有しており、船艇隊が消防隊と兼務し、消防艇を運用しています。

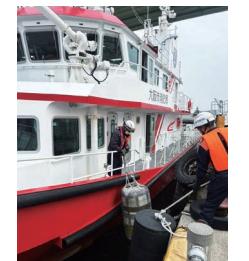
ここでは消防艇について紹介します。

「まいしま」は主に海対応の消防艇として全長36.65M、全幅7.30M、総トン数136トンを超える大型船舶です。「ゆうなぎ」は河川対応の消防艇として全長19.95M、全幅5M、総トン数19トンの小型船舶であり、橋の下を通過することができるように起倒できるマストや屋根の昇降装置、船体を沈めるバラスト装置などを備えています。

船全般に言えることですが、車両よりも風や気候の影響を受けるため、消防艇が災害現場や航行訓練により出場する際は船艇隊の乗組員だけでなく、警防職員全員で安全管理を行います。

防舷材という緩衝材を棧橋で保持し、風により消防艇が棧橋にぶつかるのを防ぐと共に不足の事態に備えています。

消防艇に乗船している職員も危険箇所等を周知しあい、コメントリードライブに努めています。



消防艇「まいしま」出航の際に防舷材を保持している様子



出場時、独自に作成した地図を使用し事故防止に努めている様子

無事故チャレンジ達成日数(令和8年2月末)

北	都島	福島	此花	中央	西	港	大正	天王寺	浪速
116	140	18	16	199	1040	775	436	113	33
西淀川	淀川	東淀川	東成	生野	旭	城東	鶴見	阿倍野	住之江
320	37	66	309	4	35	146	104	22	248
住吉	東住吉	平野	西成	水上					
496	129	39	4	771					

企画課服務指導からのコメント

署内警防技術練成会の機会を通じて、狭路通過や赤信号交差点の通過など車両の安全運行意識の高揚を図る水上消防署の取組は、公道の事故防止を推進する上で効果的であると考えます。特に赤信号交差点の通過に関しては、事故発生時の被害が大きくなり、より高い安全運転義務が求められる場面であり、当該練成会において反復した訓練を行い他の職員から自隊の走行を評価してもらうことは非常に有効であると言えます。

また、2年以上もの期間、無事故を継続していることは高く評価されるものであり、今後もこのような安全を最優先した取組を続けてほしいと思います。



リチウムイオン電池の鑑識の進め方を教えてください！

まずは、製品の所有者に使用状況を確認しよう！

出火するケースとして、

①リチウムイオン電池を落としたりすることで、中のセパレーターが破損し出火

②過充電・過放電による出火

③温度が高くなる場所に置いていて出火等さまざま！

初期不良(異物の混入、巻きズレ)や互換性バッテリーが原因で出火するケースも！



リチウムイオン電池から火災になる原因



リチウムイオン電池の製品を落下させる等、衝撃が加わり、セパレーターが破損することで短絡し、出火



過充電:バッテリー内の化学反応

が制御不能となり、発熱、発火

過放電:負極の銅箔が溶けだし、

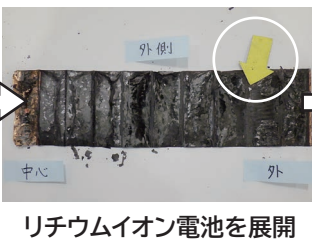
針状の結晶が作られ、異極間で

ショートを引き起こす



車のダッシュボード等、温度が高くなる場所に放置し、出火

まずは、テスターで充電が残っていないか確認！充電が残っている場合、危険なので絶対に全放電してから！確認が終われば、リチウムイオン電池を展開してみよう。



基板も確認！



リチウムイオン電池から出火した場合、電池内部のアルミ箔や銅箔が焼失している場合もあるよ！

外側に焼損がないが、バッテリーが膨らんでいたり、内部が焼損している場合、X線で内部を確認すると異物の混入、バッテリーの変形、巻きズレ等が確認できる場合も。

その際は、調査鑑識までご相談ください！

正常



異物が混入



変形



次号も見てね！

Vol.44

リチウムイオン電池

Osaka Fire
Survey and Investigation

「調べて、広めて、市民を守る。」



とうい

最近、モバイルバッテリー等のリチウムイオン電池が起因する火災が増えているね。令和7年は大阪市内で60件も発生しているんだ。大阪市内だけでなく、全国的にも増えているよ。



たぶっちゃん

そんなに発生しているんですか！

ところで、リチウムイオン電池は、モバイルバッテリーの他にどのような製品に使用されていますか？

リチウムイオン電池の種類

スマートフォン



モバイルバッテリー

コードレス掃除機



電動アシスト自転車



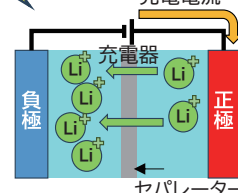
ゲーム機



様々な製品に使用されていて、インターネット等で安価に購入できるよね。

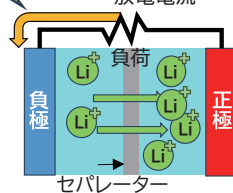
リチウムイオン電池の仕組み

充電時



充電時には充電器で電流を流し、正極側にあるリチウムイオンが、電解液を通して負極側に移動。正極と負極の間に電位差が生じて電池が充電される。

放電時



正極と負極を繋ぐ放電回路を作る。負極に蓄えられていたリチウムイオンが正極に向かって移動し、エネルギーが使われる。

次にリチウムイオン電池を展開して中の構造や、主な形状を3つ紹介するね！



リチウムイオン電池を展開



正極(アルミ箔)と負極(銅箔)の間にセパレーターを挟んで、クルクル巻いているような構造。

リチウムイオン電池の形状

①円筒型

プラス端子(+)

鉄缶

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極

アルミ箔

プラス端子(+)

マイナス端子(-)

正極

セパレーター

負極